

# 令和3年度 事業報告書

---



## 社会福祉法人 ほうりんかい 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘  
短期入所生活介護事業所  
峰林荘通所介護事業所  
すずらん訪問介護事業所  
あかり居宅介護支援事業所  
ゆうゆうケア・ワン

# 運 営 理 念

「他人（ひと）を思いやる心」

1. ここでは、みんなが家族です
2. 明るく豊かな生活をめざして
3. 地域、家族の幸せをめざして
4. 健康で明るい地域福祉の発信所

## 目 次

I. 法 人.....	4
II. 特別養護老人ホーム 峰林荘.....	8
III. 峰林荘短期入所生活介護事業所.....	12
IV. 医務課.....	12
V. 栄養管理課.....	13
VI. 各種委員会.....	14
VII. 峰林荘通所介護事業所.....	18
VIII. すずらん訪問介護支援事業所.....	20
IX. あかり居宅介護支援事業所.....	20
X. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン.....	21

## 〈 令和3年度 峰林会 事業報告 〉

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策に始まり、感染対策で終わった1年間でした。この間に当施設でもクラスター（利用者10名、職員10名の罹患）が発生し、関係各位の皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛けいたしました。

幸いにもすべての方が順調に回復することが出来ました、特に理事・評議員・監事の皆様からの、多方面に渡るご協力に対して、職員一同心より感謝申し上げます。

峰林会の運営においては、設備関係で大きな更新が2件ありました。

- 1) 電話設備機器の交換・施設内ネット環境（Wi-Fi機器の更新）の整備
- 2) 介護スタッフの労働環境の改善を目的とした、見守り装置の導入

1) の整備は会議や研修受講もオンラインが普通の時代となり（働き方改革）通信速度・容量の改善が急務でした。

2) においては人口減少と同時に、労働者人口の減少も大きな社会問題となる中、いち早く介護の現場に見守り装置を取り入れ、労働環境改善の一助とすることが出来ました。今後益々、魅力ある職場づくりが事業継続の大きなポイントになると考えております。

業績においては事業計画を下方修正する結果となりました。職員は一所懸命に勤務しており、年度当初の目標を達成する事が出来なかった点は、次年度の大きな課題となっております。

行事関係は新型コロナウイルス対策の関係で、その多くを実施することが出来ませんでした。しかし、来年度はコロナ禍でも工夫を凝らし、地域の皆様と共に各種行事の開催、ボランティア活動の受入れを進めて行く所存です。

（施設長 菊地 孝雄）

# I. 法 人

## 1. 理事会の開催

第1回（令和3年5月29日）理事4名 監事2名

承認第1号	令和2年度事業報告について	承認
承認第2号	令和2年度決算報告について	承認
議案第1号	理事選任案及び監事選任案について	可決
議案第2号	評議員選任候補者の推薦について	可決
議案第3号	評議員選任・解任委員の選任について	可決
議案第4号	定時評議員会の招集について	可決
議案第5号	評議員選任・解任委員会の招集について	可決
	職務執行状況報告	

- ・組織の見直しについて
- ・ご家族との面会について
- ・新型コロナウイルス対策
  - 1) 感染時の対策
  - 2) 予防については迅速なワクチン接種の実行
- ・対外行事について 中止⇒施設内開催
- ・人事調査について
- ・技能実習生の受入れについて
- ・事業継続計画（BCP）について

第2回（令和3年11月20日）理事6名 監事1名

議案第1号	設備整備等積立金の取崩しについて	可決
議案第2号	令和3年度第1回補正予算について	可決
議案第3号	評議員会の招集について	可決
	職務実行状況報告	

- ・キャリアパス、研修等について
- ・ご家族との面会について
- ・新型コロナウイルス対策 季節性インフルエンザ対策
  - 1) 濃厚接触者の扱いについて
  - 2) COVID-19 ワクチン接種について
  - 3) 季節性インフルエンザワクチン接種について
- ・対外的行事の中止⇒施設内開催へ変更
- ・人事調査について
- ・技能実習生の受入れについて
- ・事業継続計画（BCP）について

- ・屋外、外壁の補修工事の予算化について

第3回（令和4年3月27日） ※感染予防のため「書面決議」

議案第1号 職員給与規程の一部改正について	可決
議案第2号 経理規程の一部改正について	可決
議案第3号 令和3年度第2次収入支出補正予算について	可決
議案第4号 令和4年度峰林会事業計画について	可決
議案第5号 令和4年度峰林会収入支出予算について	可決
議案第6号 評議員会の招集について	可決

職務執行状況報告

- ・新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生時の対応について報告  
（令和4年2月11日から令和4年3月4日まで）
- ・眠りスキャン導入による、介護職員の業務軽減について報告
- ・モンゴルからの技能実習生（2名）、『特定技能』へランクアップ。
- ・新たな技能実習生の受入れ予定  
（令和4年5月入国：1名、令和4年8月入国予定：1名）

## 2. 評議員会の開催

第1回（令和3年6月13日）評議員6名 監事2名

報告第1号 令和2年度事業報告について	承認
承認第1号 令和2年度決算報告について	承認
議案第1号 理事及び監事の選任について	可決

職務執行状況報告

- ・組織の見直しについて
- ・ご家族との面会について
- ・新型コロナウイルス対策
  - 1) 感染時の対策
  - 2) 予防については迅速なワクチン接種の実行
- ・対外行事について 中止⇒施設内開催
- ・人事調査について
- ・技能実習生の受入れについて
- ・事業継続計画（BCP）について

第2回（令和3年11月20日）評議員6名 監事2名

承認第1号 令和3年度第1回補正予算について	承認
------------------------	----

理事会決定事項報告

1) 設備整備等積立金の取崩について	承認
2) 令和3年度第1回補正予算について	承認

### 3) 評議員選任・解任委員会の招集について

承認

#### 職務執行状況報告

- ・キャリアパス・研修等について
- ・ご家族との面会について
- ・新型コロナウイルス対策、季節性インフルエンザ対策
- ・対外的行事の中止⇒施設内開催
- ・人事調査の実施について
- ・技能実習生の受入れについて
- ・事業継続計画（BCP）について
- ・令和4年度高齢者施設等の非常用自家発電整備・給水設備及び水害対策強化事業への仮申請について
- ・外壁・屋上の補修工事の予算化について
- ・食事提供方法の一部変更について（9月から）

#### 第3回（令和4年3月27日 ※感染症予防のため「書面決議」）

- |       |                      |    |
|-------|----------------------|----|
| 議案第1号 | 職員給与規程の一部改正について      | 可決 |
| 議案第2号 | 経理規程の一部改正について        | 可決 |
| 議案第3号 | 令和3年度第2次収入支出補正予算について | 可決 |
| 議案第4号 | 令和4年度峰林会事業計画について     | 可決 |
| 議案第5号 | 令和4年度峰林会収入支出予算について   | 可決 |

#### 職務執行状況報告

- ・新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生時の対応について報告（令和4年2月11日から令和4年3月4日まで）
- ・眠りスキャン導入による、介護職員の業務軽減について報告
- ・モンゴルからの技能実習生（2名）、『特定技能』へランクアップ。
- ・新たな技能実習生の受入れ予定（令和4年5月入国：1名、令和4年8月入国予定：1名）

### 3. 評議員選任・解任委員の開催

（令和3年6月13日）外部委員2名 監事2名 法人職員1名 理事長

- |       |            |    |
|-------|------------|----|
| 議案第1号 | 評議員の選任について | 可決 |
|-------|------------|----|

令和3年6月13日の評議員会の終結をもって現評議員の任期が終了するにあたり、峰林会定款第6条に基づき理事会で推薦する7名（再任5名、新任2名）の評議員の選任を行った。

### 4. サービス向上への取り組み

職員の感染予防スキルアップのため、感染管理認定看護師を外部講師として招聘し、午前は座学、午後においては施設内を巡回し当施設に合った感染予防対策のご指導を頂いた。

業務マニュアルの作成は、人員不足と新型コロナウイルス対策で十分な成果を残すことは出来なかった。職員間の情報共有は前年に引き続きグループウェアのホットビズを活用した。

地域との連携とボランティアの受入れは、感染予防のため最小限（移動床屋）に留めた。安全管理・リスクマネジメントは、事故予防の意識をしっかりとって日常業務を継続することが出来た。

## 5. 組織強化への取り組み

年度後半においては新型コロナウイルス対策上、理事会・監事会・評議員会の開催は書面決議で対応した。

魅力ある組織づくりの推進は、前年度に引き続き各事業所でのツイッターによる情報発信を行った。（施設内での行事写真をアップ ハッシュタグの利用による閲覧件数のアップ等）また、ホームページのブログ更新を可能な限り行い、施設内の横断的な情報連携を進めることが出来た。

ゆうゆうケア・ワンにおいては広報活動と地域に根差したケアが受け入れられ、前年を上回る活動が行えた。（利用者の増加）

全職員の平均年齢が55歳を超えているので、計画的な組織の若返りが求められる時期に入った。次年度以降もケアの質を落とさず、順次進めて行く必要がある。

## 6. 人材確保・育成への取り組み

定期採用に向けて高等学校等の訪問を実施、職場体験を通して1名の内定者（令和4年度の定期採用）を獲得出来た。外国人技能実習生（2名）においては実技試験に合格し、令和4年度からは在留資格の『特定技能』を取得することが確定した。1名は日本語能力試験N2級に合格した。

年間を通したキャリアパス（人事考課制度）を初めて実施、不慣れな点も多数見られたが、自己の活動を振り返る良い機会となった。次年度からは振り返りを基に成長するキャリアパスの活用を目指したい。

働きやすい職場環境については施設内のWi-Fi環境の整備と、介護職員の業務負担の軽減を目的として「眠りスキャン」を導入した。おむつ交換は覚醒状況を確認してから実施・看取り期においては呼吸数、心拍数のリアルタイムでの把握が可能となり、職員のストレス軽減の一端となった。

## 7. 経営基盤充実への取り組み

コスト削減のため、職員が意識して無駄がないように努めた。

## 8. 安全対策・災害時への取り組み

新型コロナウイルス対策として  
『訓練』

ゾーニングの訓練とPPE（個人用防護具）の着脱訓練を行った。訓練は全体での訓練と各部署ごとの訓練を実施。

『検査』

行政の検査機関を利用し、全職員のPCR検査（週1回）を実施。

『クラスター発生時』

ユニット1階のゾーニングを実施。20名の利用者で10名感染、職員は10名が感染。ゾーニングの期間は1ヶ月を要したが、他部署へ拡大すること無く、終息を迎えることが出来た。

災害時の取り組みとしては飲料水の更新（アサヒ飲料販売様からの提供）。地域の方々との連携による避難訓練は感染予防のため合同での避難訓練は出来なかった。

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム 峰林荘

入居者が安心・安全に生活していただけるよう、入居者の毎日の暮らし、季節ごとの内容の見直しを行った。また、行事、家族の面会方法の検討・実施、荘内の環境整備、研修の実施等コロナウイルス感染症対策の観点から、一年を通し状況に応じて見直しを図った。

制約のある中で、質の高いサービスを目指し、職員間のコミュニケーションを大切にし、家族への状況報告にも努めた。

また、2月から「眠りスキャン」が導入され、活用するための職員研修を実施した。

入居者の夜間の睡眠リズムを把握することで、排泄介助等のケアに活かすことが出来た。リアルタイムでの状態の把握が可能になり、事故のリスク回避や看取り介護の方への状態確認に活かすことが出来た。

### 1. 入居者概況（令和3年度末）

(1) ユニット棟：36床（定員:40床）

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	0	3	3
女	1	9	13	7
計	1	9	16	10
割合(%)	3	25	44	28
平均介護度	4			

②保険者別入居者状況

	守谷市	中野市	横須賀市	大田区
男	6	0	0	0
女	27	1	1	1
合計	33	1	1	1

(2) 地域密着棟：20床

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	0	3
女	2	7	3	4
計	2	8	3	7
割合(%)	10	40	15	35
平均介護度	3.8			

②保険者別入居者状況

	守谷市	取手市
男	4	0
女	15	1
計	19	1

## 2. 全体行事

(1) 施設内行事

桜花見会は、桜の満開に合わせ、部署で4月上旬に開催。

夏祭りは、8月上旬に施設内で開催。屋台やゲームコーナー等を設け、夏祭りの雰囲気味わって頂くための演出を行った。

敬老会は、節目に当たる年齢の入居者10名のお祝いと、各部署での敬老会を行った。

クリスマス会は、12月中旬に各部署で開催。クリスマスプレゼントとケーキを用意した。

(2) 地域との関係（夏祭り）

例年であれば地域と一緒に夏祭りを楽しむが、令和3年度は新型コロナウイルス感染予防のために中止とした。

## 3. 地域との取り組み

(1) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染対応により中止

(2) 地域との連携

総合防災訓練

施設内（入居者、職員）で実施

カスミの移動スーパーと移動販売ニコパ（各週1回）

地域の方々が安全でより気軽に買い物を出来るように場所を開放した。

## 4. ユニット棟 もみじ

- ・毎月ユニット会議を開催し、入居者の変化に応じケアの確認・再検討を行う等、情報共有に努めた。

- ・毎月の誕生会の開催、季節の行事を開催した。
- ・外出に関しては、コロナウイルス感染予防のため行うことが出来なかったが、天気の良い日の散歩など気分転換が出来る様に努めた。また、室内では、和紙などを使い季節を感じられる飾り作りなどを入居者と共に行い、楽しむことが出来た。
- ・24 時間シートの内容の見直しはユニット会議で行うことが出来たが、活用までには至らなかった。
- ・感染症対策・対応を実際に行うことで、対策に必要な知識・技術を身に着けることが出来た。また、予防対策が定着化した。

## 5. ユニット棟 ひまわり

- ・24 時間シートの内容の見直しは随時行ったが、活用には至らなかった。
- ・ユニット会議で、入居者のケアの変更点の確認・再検討・伝達を行った。また、連絡ノートを活用し、情報共有に努めた。
- ・入居者に快適に過ごして頂くために、季節感のある環境づくりに努めた。
- ・感染症対策・対応を実際に行うことで、対策に必要な知識・技術を身に着けることが出来た。また、予防対策が定着化した。

## 6. ユニット棟 すみれ

- ・職員間のコミュニケーションを図り介護方法や時間の統一を行い、情報共有に努めた。
- ・ユニット費を活用して、パズルやミニゲームなどレクリエーション用品を充実させ、入居者の楽しみを増やすことに努めた。
- ・入居者に安心して過ごして頂くために備品の修理や買い替えをし、環境整備を行った。
- ・24 時間シートの作成は職員各人が担当入居者への聞き取りを行い、途中まで作成することが出来た。
- ・新型コロナウイルス対策として、入居者及び職員の手洗い手指消毒の徹底、ユニット内消毒の徹底、職員マスク着用の徹底、必要に応じて入居者のマスク着用に努めた。

## 7. ユニット棟 花みずき

- ・入居者の食事・排泄等のケア方法の見直しを再度行い、最適化を図った。
- ・職員間で日々コミュニケーションを取り、申し送りノートを活用することで情報共有に努めた。
- ・日々の楽しみとしてコンビニデザートを月一回行った。
- ・オムツ、尿取りパットの見直しを図りコスト削減に繋がった。
- ・24 時間シートの活用には至らなかったが、作成することは出来た。
- ・職員のスキルアップのために分かりやすい資料の作成を行った。勉強会の開催までには至らなかったが、業務に活かすことが出来た。
- ・感染症対策として日頃からマスク着用（職員）手洗い、消毒を徹底した。ユニット、居室内の清掃、消毒も行った。

## 8. 地域密着棟

- ・新型コロナウイルス感染予防として手指消毒、マスクの着用、施設内の消毒を実施した。
- ・アクティビティを活用したケアとして、日替わりで歌や体操、口腔体操など各職員がアイデアを出して行った。
- ・毎月のお楽しみ会と入居者の誕生会の開催の他、季節の行事を部署内で実施した。
- ・施設ケアマネジャー、リハビリ専門職、医務課、栄養課等と連携を取り、入居者の状態や現状の報告を家族に密に行うようにした。
- ・家族の面会制限の中、窓越しでの面会で対応した。
- ・入居者の日用品、消耗品の管理、調整を行った。

## 9. 地域密着運営推進会議

会議開催数 6回（奇数月）

2ヶ月に1回、守谷市介護福祉課、峰林荘地区担当民生委員、入居者家族代表者参加のもと、峰林荘地域密着型の状況と取り組みの報告をし、峰林荘の特色をより多く発信した。新型コロナウイルス感染予防のため、施設での会議開催は7月、11月のみで、5月、9月、1月、3月は、書面による報告と意見収集とした。

## 10. 入所検討委員会

令和3年度の委員会は4回開催した。5月、7月の2回は新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催したが、県内の感染状況を考慮し1月、3月の2回は書面での決議とした。

直接、入所待機者本人と面接することが難しく、家族、病院、施設、事業所、担当介護支援専門員等からの聞き取りを行い適正な入所決定を行った。

入居待機者状況（各年度末）

年度	令和元年	令和2年	令和3年
入居待機者数	85名	56名	65名

## 11. 家族会

新型コロナウイルス感染予防により荘内への立ち入りが制限され、家族を招いた行事は中止とした。面会も県内の感染状況に応じて、対面での面会を中止とした時期もあり、家族と交流を図ることが出来ない一年となった。

家族会会費より、施設内行事の食事代、お菓子代、花代、敬老会、クリスマス会のプレゼントとケーキ代、誕生会用ケーキ代として入居者の楽しみのある生活を支えている。

### Ⅲ. 峰林荘短期入所生活介護事業所

新型コロナ感染症の県内の感染者数が多い時期は、利用を控える傾向があった。

#### (1) 短期入所施設（地域密着型併設5床）月稼働状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数	122	140	126	96	133★	138
稼働率（％）	81.3	90.3	84.0	61.9	85.8	92.0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数	136	135	136	130	106	150★
稼働率（％）	87.7	90.0	87.7	83.9	75.7	96.8

※利用者数は延べ利用者数：ベッド稼働日数★施設空床分を含む

平均利用延人数 129人（前年度 135人）

平均稼働率 84.8%

### Ⅳ. 医務課

協力医療機関である「総合守谷第一病院」「オーラル歯科」中心に市内の医療機関と連携を取り、入居者一人ひとりに寄り添った看護の提供を行った。

この1年は新型コロナウイルス対策に明け暮れた日々だった。特に令和4年2月から3月にかけてのクラスター発生時には皆様のご協力により1ヶ月の短期間で終息させることが出来た。（陽性者：入居者10名、職員10名）

施設内の医療情報の共有に対しては介護記録システム「ケアカルテ」を利用し、多職種との連携を図りながら入居者の状態把握に努めることが出来た。

コロナ禍の中で手洗いやアルコール消毒の徹底も行ってきた。ゾーニングやガウンテクニック等は各部署を巡回し一緒に着脱の練習を行った。

#### 1. 主な取り組み

##### (1) 医務会議の開催

毎月第二火曜日に開催し、気付きの報告・課題点の共有を行い、対応策を実施した。

##### 2) 褥瘡対策。褥瘡を作らない、滲出が確認されたら介護員へ連絡し対策を講じた。

各部署リーダーと協議し、対策案等を協議した。

##### (3) 新型コロナウイルス感染症対策

多職種と連携しながら実践に即した訓練を実施した。

##### (4) 新型コロナウイルス予防接種 合計3回の実施（利用者・職員）

## 2. 定例的な取り組み

- (1) 入居者・職員の定期健康診断（さくらがわ地域医療センター健診部）  
入居者：11月 職員：5月・11月
- (2) 入居者の体重測定（1回／月、または状態変化時）
- (3) 入居者、職員の感染症対策：インフルエンザ予防接種実施（11月）

## V. 栄養管理課

### 1. 季節を感じて楽しめる献立・食事を提供する。

献立作成は、地域の方に頂いた食材や旬の野菜や果物など使ってなるべく飽きのこない楽しい食事になるよう献立を立てた。月に1回の選択食（麺類）や、週に1回の手作りおやつを実施し提供方法や盛り付けの工夫で季節感を味わえる安全かつ美味しい食事提供を行なった。今後は、行事食などで新メニューを少しずつ取り入れるなど、献立レパートリーの幅を増やしていきたい。

食材価格の高騰が目立つため、定期的にスーパーの市場価格を参考にし、こまめに品物の品質と価格の検討・チェックを行ない、随時献立変更を行なった。また、仕入れ業者より市場の動きの情報を頂き、そこで品物の選定をしている。今後は品質が悪く価格の高い品物を継続的に納品する業者については、選別が必要と考えられる。

### 2. 個人のレベルに合わせて食べてもらう工夫を行う。

嗜好の個人差や身体的機能の低下により食べる行為そのものが困難になった利用者には、少しでも食事を食べて頂けるように、こまめに食事観察を行ない、多職種でコミュニケーションを取り連携し、試行錯誤しながらもそれぞれの個人に合わせた食事形態などの対応を図った。

### 3. 業務推進マニュアルの作成をする。

厨房内作業の効率化・衛生管理の徹底・食中毒発生防止については、課内で声掛け、話し合いながら見直しをすることが出来た。

現在、業務マニュアルの改正検討中。また、新たに掃除チェック表等を作成し活用しながら衛生管理の徹底・食中毒発生防止に繋げている。調理員は安全で美味しい食事提供を行えた。

### 4. 他職種連携・協力にて情報共有に努め、栄養的サポートを強化する。

委員会、担当者会議、厨房内会議等を毎月開催し、情報発信や意見交換を行った。多職種とコミュニケーションを密にとり情報の共有をし、入居者一人ひとりの栄養ケ

アマネジメントを行い、嚥下状態や栄養状態に合わせた食事提供で利用者の健康維持向上に繋げた。また、多種職と連携しながらその方の身体レベルや状況に応じた栄養補助食品やトロミの調整、自助具の選別や検討も行った。

#### 5. 自然的排便に近づけるため、食品やオリゴ糖での排便コントロールを行う。

薬のみでの排便コントロールではなく、献立にヤクルトやヨーグルトを入れ、希望によりオリゴ糖の摂取で排便サポートを行った。

## VI. 各種委員会

### 1. 安全衛生委員会

職員がより働きやすい職場環境づくりに向けて、産業医と連携しながら、外的な環境のみでなく、ストレスの解消などの内的な取り組みを行った。産業医による全体研修は感染予防のため行えなかった。職場環境の快適性、安全性などのチェックを毎月1回行い、快適な環境作りに努めた。

#### (1) 健康診断

5月に実施、11月に夜勤者健診を実施した。

介護職員の腰痛アンケートを5月と11月に行った。

#### (2) ストレスチェック

3月に実施した。

### 2. 安全対策委員会

新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し、感染症対策委員会を適時開催しマニュアル作成や見直し等実施した。コロナ情報も会議の中で適宜報告した。

看取りについて多職種連携のもと、医師の判断で看取り介護の書類を交わした。適宜家族への状態変化時に報告をした。入居者健診を11月に実施し、健診結果をご家族に送付した。

#### (1) 感染症

感染症に関しては適宜多職種と相談しながら対応等を検討・実施した。

感染症対策上、通年を通しての面会制限を実施することになり、理解をご家族に求めた。

感染症対策委員会の開催を定期的に行うことにした。

#### (2) 看取り

看取りに関しては適宜、担当者会議を開き多職種連携のもと実行することが出来た。一人として同じケース無く、今後も家族に寄り添う看取りを模索する。

(3) インフルエンザ対策

予防接種は既往歴等で難しい方以外は接種することが出来た。

コロナ禍でもあり感染対策の徹底が要因しているのか、インフルエンザの発症症例は認められなかった。

(4) 食中毒対策

食中毒等の注意喚起、衛生管理を行った。

(5) 身体拘束

入居者の自尊心を尊重した制限のない暮らしづくりに向けて努力した。

身体拘束具の排除はもちろんのこと、生活空間、動作、精神的な制限などが無意識に行われていないか、毎月、身体拘束廃止委員会で現状報告や課題をあげ検討した。

在宅、施設など立場の違う委員からの意見を聞く機会が得られた。

令和3年度は身体拘束を行った入居者はいなかった。

(6) リスクマネジメント

①事故・ヒヤリハット発生件数 ※峰林荘（含む短期）

事故 109件 ヒヤリハット 12件 <合計 121件>

(地域密着 事故 68件 ヒヤリ 8件/ユニット 事故 42件 ヒヤリ 4件)

②発生状況

事故内容		発生時間帯		発生場所	
転倒	30	6時～11時	42	居室	34
転落	27	12時～17時	39	ホール	34
表皮剥離、 出血、内出 血等発見	10	18時～24時	24	トイレ	21
誤薬	9	0時～5時	14	廊下	7
誤食	4	不明	1	浴室	6
紛失	3			その他	19
打撲	3				
徘徊	2				
トラブル	1				
その他	32				

・発生状況を上半期と下半期とまとめることで、事故の件数を具体的に減らす対策が取れた。集計結果をもとに研修の企画や、職員間で事故を減らす具体的な対策を取ることが出来た。

### 3. 防災委員会

地域住民と合同で避難訓練を含めた防災訓練を実施予定であったが、感染予防のため最少人数の職員で2回（日中・夜間想定）実施した。訓練時には防災設備の点検及び使

い方の確認と検証をした。

(1) 避難訓練

6月 21日(月)〔日中想定〕消防職員派遣なし。

11月 29日(月)〔夜間想定〕消防職員派遣あり。

(2) その他

災害時に必要な備品の確認及び整理をした。

#### 4. 研修委員会

(1) 部署ごとの会議の中で必要な内部研修を実施した。

研修名	研修名
職業倫理・守秘義務・権利擁護 高齢者の虐待及び身体拘束①	感染症② (インフルエンザ等)
法人理念及び運営方針 ハラスメントについて	地域合同避難訓練 (火災、自然災害)
感染症① (食中毒関連)	認知症について
事故防止① (緊急時対応・安全運転)	高齢者の虐待及び身体拘束② 褥瘡防止について
事故防止② (リスクマネジメント・ストレスマネジメント)	高齢者の食事、口腔ケア
接遇・マナー (プライバシー)	急変時の対応、看取り及びメンタルケア
健康について (職員の健康管理・腰痛予防)	次年度に向けて 事業継続計画 (BCP)

(2) 外部研修はオンラインや動画配信が多かった。

研修年月	研修名	研修年月	研修名
令和3年3月	外国人技能実習生受入研修(責任者講習)	令和3年11月	令和3年度ハラスメント研修
令和3年5月	新任職員研修		メンタルヘルス研修会
	zoom活用講座		令和3年度記録の書き方研修
	コロナ・クラスター発生時にリーダーがやるべきこと		令和3年度茨城県高齢者権利擁護推進研修
令和3年6月	介護施設における安全対策担当者養成研修		新型コロナウイルスの感染対策
	ワクチン接種後にやっていいこと、悪いこと		ユニットリーダー研修
令和3年7月	科学的介護情報システム(LIFE)に関する研修会		令和3年度臨床死生学研修
	BCP(事業継続計画)策定研修会		令和3年度虐待をしないためのス

			ピーチロック防止研修 B
	床ずれチャンネル (you tubu)	令和 3 年 12 月	令和 3 年度アンガーマネジメント研修 B
	成年後見制度研修会		令和 3 年度普通救命講習会
	取手・守谷・利根地域在宅学習会		令和 3 年度介護認定審査会委員現任研修
	認知症介護基礎研修		労務管理とコンプライアンス研修
	会計基礎研修		社会福祉施設等給食担当職員研修
	施設長・管理者研修会		令和 3 年度コーチングスキル研修
令和 3 年 8 月	バーセルインデックス研修	令和 4 年 1 月	令和 3 年度の介護報酬改定で変わった褥瘡対応研修会
	スピーチロック研修		新型コロナウイルス感染症に係る応援職員派遣等についての説明会
令和 3 年 9 月	ユニット施設管理者研修		令和 4 年 2 月
	財務会計スキル活用研修	ヘビークレーム対応研修会	
	介護保険講習会 (web 開催)	令和 3 年度決算実務講座	
介護職員処遇改善加算等研修会	令和 3 年度動機付け面接 (MI) 研修		
令和 3 年 10 月	看取りケア研修会	令和 4 年 3 月	令和 3 年度第 1 回茨城県社会福祉法人経営者協議会研修会
	認知症介護基礎研修		眠りスキャン勉強会
	社会福祉施設等中堅職員研修 B コース		外国人技能実習生受入研修 (生活指導員講習)
			ドクターメイト研修会「介護施設における感染症についてまとめて解説」

## 5. 給食・褥瘡予防委員会

### (1) 給食

栄養士・調理師（員）会議を月一回開催し情報伝達や意見交換を行った。給食については、季節と行事を感じられ、彩りにも配慮し、楽しく、美味しく、安全な食事やおやつを日々提供し、利用者の食事摂取量や食事形態を、多職種連携にて情報交換を行い対応することが出来た。また、栄養補助食品等の検討を行い提供することが出来た。

### (2) 褥瘡予防委員会

介護スタッフと日々情報共有（おむつ交換時の状態等）を行い、褥瘡の早期発見や状態把握に努めた。

毎月の医務会議においては、利用者一人ひとりの情報・状況を看護師が報告することで、全体的には改善（減少）傾向にある。

褥瘡の写真を定期的に撮影し、介護記録システム「ケアカルテ」を利用し、時系列による評価を行った。画像であり情報の共有が均一化された。

栄養面でのサポートとして、その方の嚥下状態に合わせて提供エネルギー量を見直したり、嚥下困難な方には、栄養補助食品等の検討を多職種で行ないながら、栄養を強化し褥瘡予防に繋げた。

## 6. 広報活動委員会

(1) 広報紙「虹だより かわら版」発行

令和4年3月

(2) ブログ、ツイッター

随時更新し新型コロナウイルスの情報提供や施設の感染対策の状況などをお知らせした。

## 7. 苦情処理委員会

苦情や要望を真摯に受け止めて、質の高い介護サービスを提供したいが、報告数が少ない。苦情をだしやすい環境づくりが今後の課題である。

## VII. 峰林荘通所介護事業所

利用者と日々コミュニケーションを積極的に行いながら、些細な変化に気付く体制を取っている。90歳以上の利用者が多いので体調などに合わせたサービスを提供することが出来た。

また、職員間で口頭や申し送りノートにて情報共有を行うことが出来、他事業所やご家族には身体状況の変化などがあった場合には、情報を提供し連携を図った。利用者の希望に合わせて、特養入居中のご家族との面会の付添いを行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアの受入れは控え、毎月担当職員を中心に利用者が楽しめる内容のレクリエーションや行事を計画・実施し、マンネリ化しないように新しいレクリエーションは、情報誌やネットを活用し取り入れた。月に1回の広報誌（アムール）やツイッターで行事内容を掲載し、利用者がデイを楽しむ表情などの情報発信が出来た。

毎月第3水曜に関係職員で、デイサービス会議を開催し現状で困っていることや業務について話し合いを行い、サービスの質の向上に努めた。

安全運転や地域の見守りを心掛けながら送迎を行い、車両メンテナンスは、運転職員が積極的に行い綺麗な車両を保つことが出来た。

法人理念同様、より地域に根ざした通所事業所を目指し令和4年4月から地域密着型通所介護事業所への移行や土曜日営業も行うこととなり、申請書類等各関係部署や守谷市の担当者との連携を取りながらスムーズに行うことが出来た。

居宅への訪問等を行ったがなかなか新規を獲得することが出来ず、利用者の体調の変化などでショートステイの利用や永眠等が増えてしまい、稼働率は落ちてしまっている。今後、峰林荘通所介護事業所としての特徴や新しいものを取り入れ、土曜日営業も含め、各居宅事業所や関係機関にアピールして新規利用者を増やすことが課題である。

(1) 月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
34	33	33	33	31	30	30	28	28	27	25	27

(2) 月別利用者延べ人数・稼働率

年	令和3年									令和4年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
人数	292	284	287	285	247	258	244	240	234	221	169	214	2,975
稼働	70	71	68	68	59	64	61	57	56	55	44	49	

平均利用延人数 248 人（前年度 258 人）

平均稼働率 61%

(3) 年齢別利用者数（令和4年3月）

区分	男	女	計	割合 (%)
～64	0	0	0	0
65～74 歳	0	3	3	11%
75～84 歳	0	3	3	11%
85～94 歳	3	11	14	52%
95 歳以上	1	6	7	26%

(4) 行事への取り組み

季節ごとに季節感の感じられる行事企画を立て、「見る」「食べる」「体験する」を基本コンセプトとして取り組んだ。

月	内 容	日常の取り組み
4	花見会	鯉のぼり制作（塗り絵・貼り絵）
5	鯉のぼりドライブ	藤の花制作
6		紫陽花の花制作、七夕飾り
7	七夕	七夕飾り、ひまわり制作
8	夏祭り、手作りおやつ	提灯制作、うちわ制作、射的ゲーム
9	敬老会	ふくろうの飾り物制作、ビンゴ
10	運動会	カードはさみ競争、送りゲーム、投げない輪ゲーム
11		ビンゴ、クリスマスリース制作
12	クリスマス会、体操教室	物の数え方ゲーム、ビンゴ大会
1		もち花制作、毛糸のカゴ飾り物制作
2	節分	玄関飾り制作、守谷特集鑑賞

3	雛祭り 桜花見ドライブ・お花見散歩	吊るし雛の制作、桜の制作
---	----------------------	--------------

定例行事 書道、手作り昼食・おやつ、華道クラブ

カレンダー作り・誕生会－毎月 モビール制作－季節ごと（年4回目安）

学習療法（脳トレ等）－毎日 避難訓練（年2回）

## Ⅷ. すずらん訪問介護支援事業所

ヘルパー員の補充が出来ないため令和3年4月より休業中。

## Ⅸ. あかり居宅介護支援事業所

介護保険の理念である「自立支援」の考え方を共有し、その人らしい暮らしを目指し支援を行うため関係事業所との連携強化に努めた。

サービス利用時に際しては、利用者に対して複数の選択肢が必要になるため医療や福祉関係の多職種との連携を図った。

事業所体制が評価される特定事業所加算を取得するための週1回あかり会議として定例会議の開催や、年2回の事例検討会、地域ケア個別会議等に参加した。研修においては、新型コロナウイルス感染予防のため、リモート会議により事業所としての質の向上を目指すため研修等積極的に参加した。地域の実情や介護保険の情報については情報提供に努めた。

### 1. 介護給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	122	121	126	124	125	129	128	131	131	126	122	120

### 2. 介護予防給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	38	39	38	37	40	37	33	33	33	33	34	33

### 3. 守谷市要介護認定の更新調査委託業務

感染拡大予防のために依頼がなかった。

## X. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン

### 1. 実施状況

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがつかず、職員の体調管理、基本的な感染症対策を徹底し、利用者に安全で安心なサービスを提供することに職員一丸となって取り組んだ一年だった。

利用者増の動きとしては、コロナ禍のため感染症対策を徹底しながら、利用者の新規獲得のため見学や体験利用を柔軟に受入れた。また、利用者・家族・関係機関との細やかなコミュニケーションに心がけ、個々のニーズに合わせた柔軟な対応とより良いサービスの提供に努め、各居宅との信頼関係の構築にも細やかな対応を行った。新規契約が定期的(月1~2名)にあったが、通常の動きのほか、コロナ関連などのお休みも多く、稼働率は平均して約75%に留まった。

毎日のミーティング実施、また定期的な「ゆうゆう会議」と「各研修」により、情報の共有と、各職員が自らの「振り返り」を行い、サービスの質の向上に努めた。

新型コロナウイルス感染症においては、「ゆうゆうケア・ワン」のガイドラインを配布し周知をして頂くことに努めた。今後も利用者・家族に協力を頂きながら、感染症拡大防止対策の実施、職員の体調管理を徹底し、これからも安心して安全に利用していただけるよう努めたい。

### 2. 利用状況

#### (1) 登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
47	46	45	44	44	43	42	43	43	43	43	45

#### (2) 年齢別利用者数(令和4年3月)

区分	男	女	計	割合(%)
65~74歳	0	1	1	2%
75~84歳	4	10	14	32%
85~94歳	8	18	26	58%
95歳以上	1	3	4	8%

#### (3) 利用者延人数

年	令和3年									令和4年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
延人数	364	340	356	373	355	372	375	396	387	361	334	388	4,401
稼働率	73.6	68.8	72.0	72.7	71.8	75.3	75.9	79.9	81.4	79.1	73.2	75.6	

平均利用延人数 336.7 人（前年度 328 人）

平均稼働率 75%

### 3. 行事・レクリエーション

新型コロナウイルス感染症の終息も見通しが立たない中、通常の行事を実施することは難しかったが、感染症拡大防止対策の徹底とリスクを十分考慮し、安全を第一に考えた計画を立て、日々のレクリエーション・年間のイベント行事を行った。

今後も感染症の状況に合わせて、ボランティアの方々の受入れや各行事・趣味活動・レクリエーション活動を提供し、利用者一人ひとりの満足度に繋げられる取り組みを行っていく。

月	行事・レクリエーション	作成物・その他
4	・散歩（機能訓練） ・つつじ見学 ・誕生日会 ・書道 ・おやつレク（鯉のぼりワッフル）	壁面飾り（あやめ）
5	・フラワーアレンジメント ・菖蒲湯 ・誕生日会 ・おやつレク（さつまいも蒸しパン）	壁面飾り（藤の花） "（睡蓮・紫陽花）
6	・おやつレク（フルーツパンチ） ・誕生日会 ・音楽レク（楽器演奏） ・書道 ・散歩（機能訓練）	七夕飾り（飾り工作・短冊） 壁面飾り（ひまわり）
7	・おやつレク（バナナパフェ） ・誕生日会 ・書道	壁面飾り（アサガオ）
8	・夏祭り ・誕生日会	壁面飾り（コスモス）
9	・敬老お祝い（感謝状授与・演芸） ・誕生日会 ・書道	壁面飾り（コスモス）クラフト盆栽 工作（リンゴのメモスタンド）
10	・おやつレク（さつまいもどら焼き） ・お楽しみ会（職員による演芸） ・音楽レク（楽器演奏） ・誕生日会 ・ミニ運動会 ・散歩（機能訓練）	秋の壁面飾り（コスモス）
11	・おやつレク（あんホイップワッフル） ・散歩（機能訓練） ・書道 ・誕生日会	クリスマスツリー飾りつけ （点灯式）
12	・クリスマス会（演劇・合唱・ダンス等） ・音楽レク（ハンドベル合奏会） ・柚子湯 ・誕生日会	冬の壁面飾り（富士山） 干支の置物作成（寅） クラフトツリー作り
1	・おやつレク（おしるこ）	壁面飾り（富士山）

	・誕生日会	干支の置物作成（寅） 節分用マス作り
2	・節分行事 ・おやつレク（チョコベビーカステラパフェ） ・誕生日会 ・音楽レク（楽器演奏） ・書道	壁面飾り（水仙） 雛飾り工作（ニコニコおひな様） 種まき（プランター）
3	・おやつレク（桜餅） ・誕生日会	春の壁面飾り（桜） 園芸（苗植え付け・種まき）

※その他、毎日のレクリエーション活動については、感染症対策を行いながら状況に合わせて趣向を凝らしたゲームや工作・紙芝居、施設周りの散歩（機能訓練）など行った。

※コロナ禍のため、ボランティアの方々の来訪もないため、定期的に職員による「お楽しみ会」を実施した。